

甲13号証

謄本

(供述調書等継続用紙)

カセットテープ内容解析報告書
平成13年4月23日
警視庁刑事部捜査第一課長
司法警察員警視正 菅原 忠雄 殿
警視庁刑事部捜査第一課派遣
警視庁生活安全部少年育成課
司法警察員警部補 龍澤 智浩 印
被告人の本籍、住居、職業、氏名、年齢
本籍 大阪府大阪市北区堂山町15番地
住居 東京都港区赤坂9丁目
職業 会社役員
織 原 城 二
昭和27年8月10日生(48歳)
上記被告人に対する準強姦被疑事件(起訴済)につき、平成12年10月11日付、東京地方裁判所裁判官小川正持が発付した捜索差押許可状により、同年10月13日に、東京都港区赤坂1丁目7番
室において差押えたカセットテープに、別件被害者の声が録音されていることから、その録音内容を解析した結果は、下記のとおりであるから報告する。
記
1 解析年月日
平成13年4月22日
2 解析場所

警 視 庁

(供述調書等継続用紙)

警視庁刑事部捜査第一課 平河町分庁舎内	
3	解析資料
カセットテープ 1本	
但し、平成12年10月13日、東京都港区赤坂1丁目7番	
から、警視庁刑事部捜査第一課	
司法警察員警部補副島雅彦が差押えた	
東地庁外領 第7315号	
符 号 521-1	
アクシア製 80分テープ	
4	解析方法
カセットテープをソニー製ディクテータートランスクリイパーBM-89	
で再生し、内容を解析した。	
5	解析結果
(1) 録音内容	
ア 被告人と準強姦被害者「岡山」(事件にあっては平成12年12月	
8日逮捕、同年12月28日起訴)との会話が録音されたもの。	
イ 会話の相手が「岡山」とあるという断定理由は、本人から被害届等	
を受理している警視庁刑事部捜査第一課司法警察員巡查山口光子が本テ	
ープの再生の音声と会話内容を聞き断定したもの。	
ウ 録音年月日については、会話内容から「岡山」が被害にあった	
平成12年6月4日から	
同年6月5日までの間	
と思料される。	

警 視 庁



(供述調書等継続用紙)

(2) 録音状態

ア 被告人の話し方が早口のためはっきりしない箇所と、「岡山」の声
が小さいために聞き取れない箇所がある。

イ 途中「ピー音」が入っており、会話が打ち消されている箇所がある。

(3) 内容全般

「岡山」がホストクラブに通って作った借金の話

6 措置

解析状況を明らかにするため、本報告書末尾に「織原録音テープ内容」と
題した別紙4枚を添付することとした。

警 視 庁

警視庁捜査一課が偽造し、提出した偽造反訳文

織原録音テープ内容

- 1 テープ内容について、言葉が聞き取れない箇所は で、はっきりしない箇所は () 内にひらがなで表現した。
- 2 その他はすべて録音された内容のとおり記載した。

(音楽が流れている)

岡山泉 そう言ってたんだ。でっ、月末になってきたら、やっぱり財布が一定していないからって、私のせいじゃないじゃん。これじゃ。
いいじゃん、別に私のこと責めれば。
だから、ようは払えばいいんでしょ、月曜までに。
行ってやるよ。行ってやってやるよ。43万持って行くよ。
何でそこまで言わなきゃいけないの。人に借りるしかないじゃん。
私だって、何もしていないみたいな言い方しないでよ。
私だって、いろんな所に貸してって言うてるもん。

(ピーピーピーピー)

織原 ………で、何。ホストクラブで飲んで、飲んでたらさ、金持って来いって。
うん、俺、君みたいなさあ、なあ、好きだよな。
へっへ君みたいな子ね、あの、ホストクラブで、中学からさ、中学から短大まで
5、6人知っているよ。俺、言ったと思うけどさ。
だからさ、……… なきゃだめだよ。フッフッフ。
人間くれぐれも経験だからさ。良かったね。
知っている、中学生の子だけど、文句言われてさ。
1週間に5日、5日ねあの一、銀行寄ってた。
彼女いつか、あの一、ホストクラブ行ってさ。
本当に、もうちっちゃい店だったけどね。

岡山泉 はい。

織原 君、いつからホストクラブ行って、ホスト何人位居るとこ行くの。

岡山泉 ……………

織原 結構大きい。そうでもない。

岡山泉 ちっちゃい。

織原 ちっちゃいんだ。

(ドンドン)

岡山泉 私、夜中酔っ払って電話しました。

織原 あっ、1回やっていたよ。1回ね。

あれは、カラオケのね、カラオケ歌う前だったけな。

何か、今、逗子ね。

岡山泉 うん。

織原 今、彼と逗子に居るから。

あっ、逗子マリーに居ると言ったんだ。うん、出てたよ。

岡山泉 ……………

織原 たぶん、これさ、変にあの一、日本にね。

赤坂に法律的な問題があつてさ。

岡山泉 うん。

織 原 それで一だいたいね、弁護士に知り合い居るから。
 赤坂の弁護士に対し、平均ね、300万円位取られてさ、1億円、最高2億5千
 万円取られた。
 岡山泉 うん。
 織 原 うん、たぶん、ホステスにね。うん、そこで君なんかさ。
 岡山泉 うん。
 織 原 思うんだけどあれだよ。
 若い奴のまあ一女でもいいんだけど、ホスト、ホステスにね。
 岡山泉 うん。
 織 原 もうホステスに惚れちゃってさ。でっ、日曜日も どう思う。
 ばかじゃないかと思わない。
 岡山泉 最初 溜まってもー
 織 原 溜まっちゃって、フッフッフッフ。うん。
 まあーでも良かったよ、400万円になって、40万円に
 岡山泉 うん。
 織 原 なっ。ねえ、昨日聞いたけど、何、何、何、何、何回40万円
 岡山泉 10回位
 織 原 10回で40万円、ああそう、んーそうだよなきっと、うん。
 何でぜんぜん払わなかったの。10回分。
 岡山泉 持ち金がなかった。
 織 原 だけど10回をさ。なっ、10回払わなくて、いずれ払わなくちゃだめだってこ
 と分かってるんだから。
 岡山泉 うん。
 織 原 でっ、それで、今回払ったらさ、ね、又(ちいき)始めるの。
 岡山泉 もう行かない。
 織 原 なっ。
 岡山泉 だから行かなければ良かった、行かない。
 織 原 今、何って言った。このほどは何。
 岡山泉 やめるからもう行かない。
 織 原 やめる、何でやめるの。
 (ピーピーピーピー)
 岡山泉
 織 原 いいよもう、本当。あし。明日話をしない。
 今、話をしても、もう感情論になっちゃうからさ。
 何。
 岡山泉
 (ピーピーピー)
 織 原 やめて何、何するって、何、何するって、やめてどうするって。
 岡山泉 大学生
 織 原 大学生、でっ、慶応のやつってこれからのこと。

岡山泉 そうだよ。
織原 えっ。
岡山泉 そうだよ。…… 別れなければ …… 絶対払えないよ。
織原 そうそう、何んでそのホストクラブに行くようになったの。
岡山泉 でも、だって、酔っ払いながら入ったから。
織原 ああーん。
岡山泉 あっ、私の服どこ。
織原 風呂場にある。ちょっと風呂入んな、風呂、な、風呂入んな。
入れてあげたから風呂。
織原 ふ、ふ、風呂入んな。ちょっと（かみ）も用意して。
岡山泉 うん。
織原 なっ。
岡山泉 うん。

以上は謄本である

平成13年4月23日

警視庁刑事部捜査第一課派遣

警視庁第二機動捜査隊

司法警察員 巡查部長 永松隆光 (永松)

納 付 書

平成 1 7 年 7 月 8 日

弁護士 幣原 廣先生

貴職より平成 1 7 年 6 月 3 0 日全語反訳の依頼を受けた録音テープ 2 巻

T D K 製 1 2 0 分コンパクトテープ 2 巻

の反訳書を納付いたします。

なお、フロッピー内の反訳文は 6 か月後に消去します。訂正は反訳書
原本に訂正個所を記入の上、テープを添えてお申し出ください。また、
6 か月を経過したものについては有料となります。(反訳料の半額を請
求させていただきます。)

日 本 記 録 士 協 会

裁判所内日本記録士協会が行った正式な反訳文

会 話

TDK製120分コンパクトテープ1巻 A面（収録時間 7分）



凡 例

(岡 山) -----岡山

(男) -----織原

..... -----聴取不能

発言者の特定は依頼者の指示によるものである。

(テープA面)

(音楽 約3分)

(岡 山) いいよって、言ってたんだもん。で、月末になってきたら、やっぱり返せ、返せなんていうのは、私のせいじゃないじゃん、そんなの。

(間) いいじゃん、別に、私のことで・・・ば。(間) だから、要は、払えばいいでしょう、月曜までに。(間) してやるよ。行ってやってやるよ、40万持って行くよ。なんで、そこまで言わなきゃ、いけないの。人に借りるしか、ないじゃん。(間) (泣き声) 私なんて、なんにもしてないみたいな、言い方しないでよ。私だって、いろんなところに、貸してって言ってるもん。

(間 24秒)

(男) ...だよ。あれさ、なに？ホストクラブで飲んだ金さ、...のどこ行って。うん？

(岡 山) (泣き声)

(男) 俺、君みたいなさ、なあ、聞きなよね。君みたいな子をね、あの、ホストクラブで、中学からさ、中学から短大まで、5～6人、知ってるよ。なあ、同じパターンでさ。だから、まあ、(間) 懲りなきゃだめよ。

(笑い) 人間、なんでも経験だからさ、そうでしょう？(間) 知ってる中学生の子なんて、もっと...かったな。1週間に5日ね、あの一、援交やってたもんな。彼女が行ってた、ホストクラブっていうのは、本当にもう、偶然、ちっちゃい店だったけど。君、行ってたホストクラブって、ホスト、何人ぐらいいるとこなの？

(岡 山) ...20人ぐらい。

(男) あ、結構、大きいんだ、そうでもない？

(岡 山) ちいちゃい。

(男) ちいちゃいんだ。



(岡 山) (泣き声)

(間)

(岡 山) 私、夜中、酔っぱらって、電話してました？

(男) あ、1回やってたよ、1回ね。あれは、カラオケのね、カラオケ、歌う前だったっけな。なんか、いま、逗子のにね、

(岡 山) うん。

(男) いま、彼、逗子にいるから。あ、留守電に入れてたんだよ、留守電。うん、入れてたよ。

(岡 山) 留守電。

(男) たぶんね、これさ、特に、あの、日本人ね、ここに、赤坂、韓国村があってさ。

(岡 山) うん。

(男) それで、大体ね、弁護士、知り合い多いから、赤坂弁護士……、大体、平均ね、300万ぐらい取られてさ、一番酷い……は、2億5000万取られたの。

(岡 山) うん、うん。

(男) 韓国ホステスにね。……、君なんかさ、日本の、その、あれだよ、若いやつでも、まあ、おっさんでもいいんだけど、ホステスにね、もう、ホステスに惚れちゃってさ、それで貢ぐの、姿見て、どう思う？ばかじゃないかと、思わない？

(岡 山) 最初は思ってたけど、いま、自分がそうだから、なんとも言えぬ。

(男) はまっちゃって？(笑い) まあ、でもよかったよ、400万じゃなくて、40万で。

(岡 山) うん。

(男) ね。昨日、聞いたけど、何回で40万？

(岡 山) 10回で。



(男) 10回で40万。ああ、まあ、そのぐらいだろうね、きっと。で、なんで、全然払わなかったの、10回分。

(岡 山)

(男) それにしても10回もさ、な、10回も払わないなんて、いずれは、払わなくちゃだめだ、ということわかってるの？

(岡 山) うん。

(男) で、それで、今回払ったらさ、ねえ、また、行き始めるの？

(岡 山) 行かない。

(男) なあ。

(岡 山) だから、もう、その子が辞めるから、行かない。

(間)

(男) いま、なんて言った？この子がなに？

(岡 山) 辞めるから、もう行かない。

(男) あ、辞める、なんで辞めるの？

(岡 山) なんか、学校に専念するんだって、.

(男) いいよ、もう、そうか。明日、話ししない、もう？いま、話しても、また、感情論になっちゃうからさ。

(岡 山)

(男) そいつ、なに、

(岡 山)

(男) そいつ、なに、辞めて、なにをするって、なにをするって、辞めて、どうするって？

(岡 山) 大学生。

(男) 大学生。(間) なに、慶応のやつって、そいつのこと？

(岡 山) そうだよ。

(男) えっ？

(岡 山) そうだよ。(間)ただ、絶対、払わなかったら、別れなければなんないから、絶対、払いたいよ。

(間)

(男) そもそも、なんで、そこのホストクラブに行くようになったの？

(岡 山)、働いて..。

(男) ああ、そうか。

(岡 山) というか、私の服、どこ？

(男) 風呂場にある。ちょっと、風呂、入りなよ、もう、風呂、な。風呂入りなって。入れてあげたからさ。(間)ちょっと、風呂、入りなよ。ちょっと、髪も用意して。

(岡 山) うん。

(男) うん。

(テープA面録音終了)



以上のとおり表記の録音テープを誠実に全語反訳いたしました。

平成17年7月8日

日本記録士協会 所属

記録士 和田 幸 枝



